



4月に開学した立命館大学と市の岩倉公園



## よねかわ しょうり 米川 勝利プロフィール

- ◇1986(昭和61)年生まれ
- ◇大池小学校、東中学校、茨木高校、同志社大学政策学部卒業
- ◇同志社大学大学院 総合政策科学研究科 博士前期課程修了 博士後期課程退学
- ◇所属委員会
  - ・民生常任委員会
  - ・北部地域整備対策特別委員会
  - ・議会広報委員会
  - ・議会改革推進委員会
  - ・茨木市土地開発公社理事
- ◇茨木BBS会 副会長

詳しいプロフィールは  
ホームページへ  
<http://s-yonekawa.net/>  
ブログも更新中!



## 昨年に続き、子ども・若者支援について質疑を行いました。

### ◆2014年3月議会

「社会との接点がなく、これまで支援の網から漏れていた子ども・若者(高校中退者、保護観察終了者等)の支援をどうするか」について問題提起(質疑)。

市の答弁は、「**府の動向を見極めながら、すべての支援の入り口となる相談窓口について、政策推進会議で検討していく**」というものでした。

### ◆2015年3月議会

質疑①

妊娠・出産期、就学前期、小・中学校期、青年期というライフステージごとの切れ目のない支援について、なかでも、高校を中退した子ども、進学せず就職したが辞めた子ども等、中学卒業後の子どもの支援について、市でどのような議論をしてきたか。

市の答弁①

国の「子どもの貧困対策に関する大綱」に基づき、子どもの貧困対策プロジェクトチームを設置し(2014年10月)、教育・生活・就労・経済的支援について検討を行った。その一つとして、**子ども・若者に関する関係機関・団体連携による支援ネットワークである「子ども・若者支援地域協議会」の設置を予定。中学校を卒業した子どもへの支援も、この協議会の中で進めていく**(※上記の2014年3月の市の答弁がこの協議会に当たる。委員会での質疑で今春からの設置を確認)。

質疑②

この協議会で実際的な支援は誰が担うのか。現在、中学校の教員が追指導<sup>※</sup>で卒業した子どもの支援を行っていただいているが、この協議会との役割分担、連携が必要ではないか。

市の答弁②

協議会には、構成機関の代表者の会議と実務者による会議を設ける予定。具体的な支援方法は実務者会議で検討し、関係機関が実際の支援に当たる。中学卒業後の生徒の支援については、追指導担当者等とこの実務者会議とが連携・協力をして、課題解決に取り組む。

※追指導：本市では、中学校卒業後の進学先や就職先での適応状況を把握するために、市内14校全ての中学校に追指導担当者を置き、卒業後3年間の支援をしている。中退や不本意な進路変更を未然に防ぐための支援を行っている。

# 2015年春 議員インターンシップ生 対談

## ◆議員インターンシップ 学生の受け入れ

議員を志すきっかけとなったNPO法人ドットジェイピーが行っている議員インターンシップ。昨夏に続き、2～3月に2名の大学生を受け入れました。

今回もインターンシップのプログラムとして、議会傍聴、街頭演説、プレゼンテーションの勉強、自己分析、政策研究を行いました。合計約120時間の活動でした。そんな彼らに、改めて話を聞きました。



### 米川：インターンシップに参加しようと思った理由は？

林：今回のインターンシップに参加しようと思った動機は2点あります。まず1点目は、**自分の思っている政治と実際の政治のギャップを埋めたい**と思ったからです。実際、米川議員の下での活動を通して、これだけ政治、議員が市民のすぐ身近にあり、驚きました。2点目は、学生のうちから社会人としてのスキルを身につけたかったからです。たとえば論理的なコミュニケーション能力、人前でのプレゼンテーション能力、聴く力など、インターンで学びたいと思いました。

岡崎：私は、未成年が罪を犯してしまってから、更生に至るまでに関心があるので少年院で働きたいと思っています。少年、少女が罪を犯してしまうのは、その本人だけの問題ではなく、家族や社会の問題など、いろいろな背景があると考えています。それらの背景をより深く知りたいと思い、まず、**地域福祉について議員のもとで勉強したい**という思いから参加を決めました。



立命館大学2回生（インターン時）林周平

### 米川：インターンシップ活動を通して思ったこと、学んだことは？

林：やはり一番印象深いのは政治、議会に関する知識です。私の参加動機でもある**政治のギャップを埋めたいという目標に大変役立ちました**。そしてもう一つ**聴く力**を米川議員から学ぶことができました。議員という職業柄もあり、また耳の不自由なお母様のもとで育てたこともあり、人の意見にしっかりと耳を傾け聴いて理解しようとする力、姿勢がすごい人だなと感じました。米川議員とともに過ごす中で、私も聴く、きちんと理解するといったことを意識し徐々に聴く力を自分のものにできるようになりました。

岡崎：**このインターンシップで様々な人と出会い、福祉に関する話も聞き、非常に刺激になりました**。そして私は人前に立って話すことが苦手でしたが、インターンの中でプレゼンテーションの練習をしたり、街頭演説をして、人前に立つことに前ほど苦手意識はなくなりました。



追手門学院大学1回生（インターン時）岡崎静香

## トピック

### 平成27年度の茨木市の予算が決まりました

一般会計を市民一人当たりへ換算(約32万円)した場合、福祉の充実に14万9,400円、道路・公園等の整備36,700円、教育の推進35,300円、環境・保健衛生の向上25,500円、市債(借金)の返済17,100円、消防・救急業務8,500円、農林・商工業の振興4,700円、その他(防災対策等)37,900円です。



一般会計	879億0000万円
特別会計	589億7885万円
下水道等事業会計	120億9159万円
水道事業会計	71億9041万円
総計	1661億6085万円



### 行政視察～鳥栖市、佐賀市～



5月18～19日、民生常任委員会で佐賀県鳥栖市の子育て支援総合コーディネーター、佐賀市の高齢者見守りネットワーク事業の視察に行きました。

その他、機構改革の課題について、大学との連携における本市の認識の整理と課題について、保護観察対象者の雇用について、大学奨学金利子補給制度について、障害者差別解消法に基づく本市の対応の方向性について、移動支援事業の改善について質疑をしました。詳しくは議事録をご覧ください。